

和光の緑と湧き水だより

緑と湧水と流れの会会報 VERDA NO.14

2005年11月11日 高橋絹世記(462-9912)

大阪斜面林の手入れ・湧水ふれあいの森フランニング

大阪の斜面林は、大変貴重な野草が多いところ。このことは、この斜面が北向きで、落葉樹の森であり、湧水が斜面下にある典型的な春植物に適した林です。

今までにも、斜面に常緑樹が育たないように刈り、ササ刈りも適当に行われてきた結果ではないかと思います。大きくなったアズマネザサの刈り取りを地主さんの了解を得て行うことになりました。斜面をなるべく崩さないように林の中に入り、上部から丈が伸びたアズマネザサを刈りたいと思います。

湧水地についても、地主さんから今後のためのプラン作成の了解を得ています。

しかしここがふれあいの森になるかどうかは分かりません。今後の進め方にかかっていると思います。そのためにも、ぜひ現地を観察して、これからの方法を考えていきたいと思っています。

日程を以下のように決めましたので、ぜひご参加ください。

第一回 11月17日(木) 13時30分～15時位まで

この日は、入り口を決めます。春植物に影響しないようにしたいと思います。

急坂に気をつけて、上部から試し刈りをします。刈ったササを斜面下部に集めましょう。常緑樹も大きくならないように、刈り取ります。

第二回 12月3日(土) 10時～12時30分頃の予定

休日に出られる方はぜひきてください。

白子湧水地の久しぶりの手入れの日です。大阪斜面林・湧水地を皆さんで観察し、将来の

湧水ふれあいの森

になるように考えていきましょう。

斜面入り口から上がり、上部、中部にある大きなアズマネザサを刈り、斜面下部に集めます。常緑樹(アオキなど)も刈り取ります。

自生地付近には踏み込まないで、よりよい森になるように手入れをしましょう。

皆さんで、今後の事を現地を見ながら話し合いたいと思います。

宮前ふれあいの森の市民管理協定制度についてもお知らせします。

